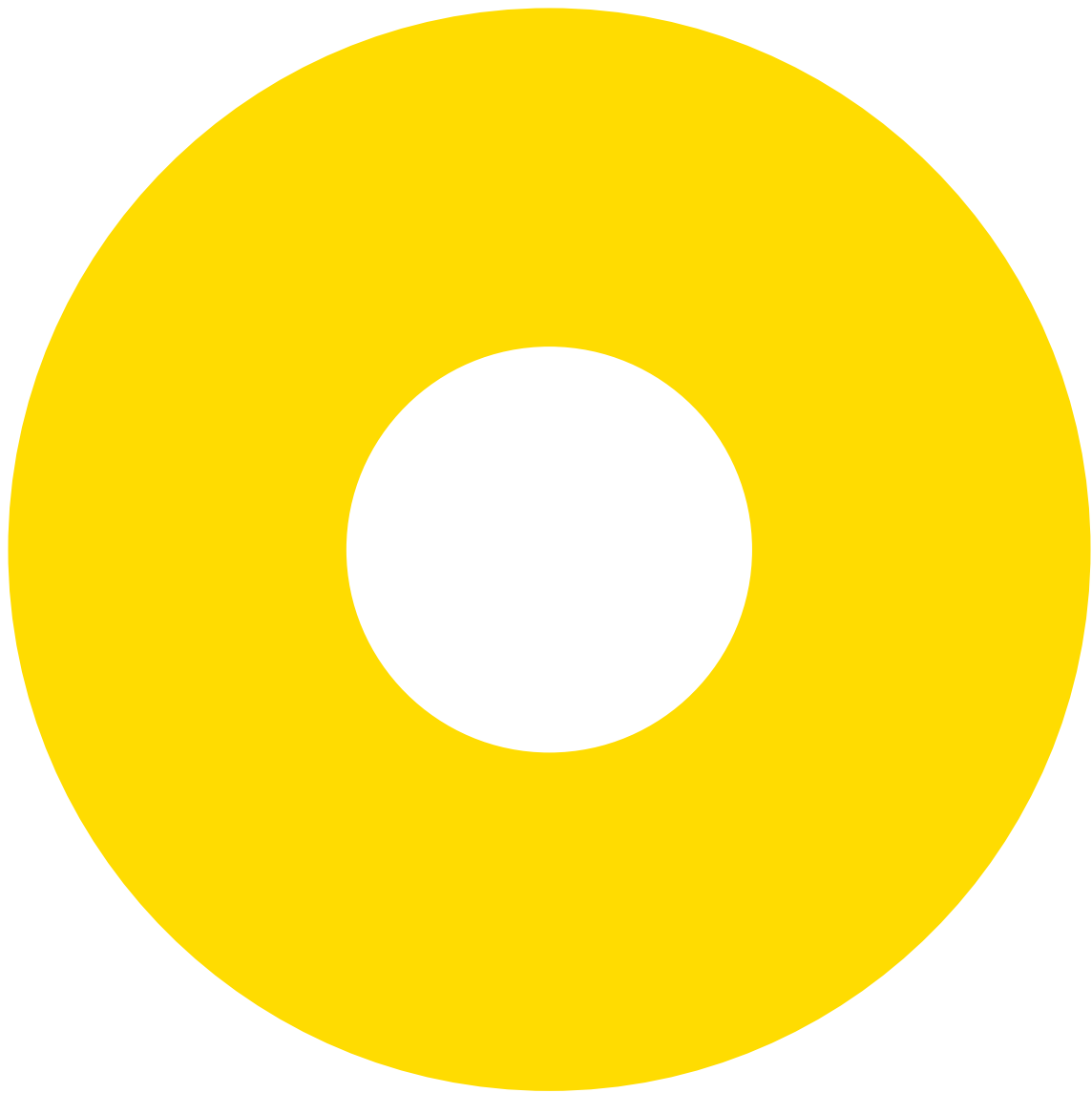


# **GOLDWIN**

## **CORPORATE PROFILE**



ゴールドウィン会社案内

## 社長ごあいさつ

当社は、創業以来60年間にわたり、スポーツアパレルの技術・市場の発展とともに歩んで参りました。これもひとえに、皆様の温かいご指導と、格別のお引き立てによるものと心より感謝申し上げます。

スポーツ及びアパレル業界における市場環境は、グローバル化による競合の激化に加え、経済全体の不透明感による消費の低迷など厳しい状況を脱しておりません。しかしながら、日常的にスポーツを楽しむという習慣の一般化と健康に対する意識の向上に後押しされ、近年のスポーツに対する関心の高まりは益々顕著なものとなっています。

当社ではザ・ノース・フェイスやエレッセをはじめ、それぞれのスポーツカテゴリーにおけるNo1ブランドを多数展開しております。それぞれの競技に特化した高機能商品を開発し、トップアスリートから一般の愛好家まで幅広い信頼を得ております。

また、ゴールドウインとJAXA、株式会社J-Spaceとのコラボレーション「宇宙オープンラボ」において宇宙での着用を経て製品化された宇宙下着の技術を応用した、着るだけで加齢臭と汗のニオイを大幅に減少させる素材「マキシフレッシュプラス」を採用したアンダーウエアや、厚生労働省が定める「一般医療機器」の基準をクリアしたコンプレッションアンダーウエア「C3fit」が大きな反響を呼び、新たな成長分野での市場参入も果たしております。

さらに、日常生活の様々な動きに負荷をかけて効果的にカロリーを消費するアンダーウエア「カロリーシェイパー」や、独自のダブルメッシュ構造によるエアアクセル効果により、運動時に優れたクーリング効果を実現するスポーツウエア「So Cool! PLUS」の展開をはじめました。

これらの新製品は、従来のブランド事業だけでの開発ではなく、ゴールドウイン全社の総力を結集し開発した製品です。

今後もこのような新機軸の新製品開発と、スポーツシーンはもちろんのこと、日々の生活の中に活かされる快適なウエアを提供して参ります。トップアスリートはもとより、すべてのスポーツを愛する方々に、最高のパフォーマンスが発揮される製品作りをこれからも目指していきます。

弊社はおかげさまで、昨年創業60周年を迎えました。創業の原点に立ち返り、社名に込めたゴールドウイナーの名に恥じぬものづくり、そして、お客様に真の満足を頂ける企業でありたいと思っております。

株式会社 ゴールドウイン  
代表取締役社長 西田明男



## 企業理念

### スポーツのある豊かなくらしを築き上げること We Provide Sportful LIFE.

人々の暮らしをもっと楽しく、健康的に。ゴールドウインは、スポーツフルなライフスタイルを創造し、提供していきます。

競争や余暇にとどまることなく、健康や環境といった現代のニーズに人々が真摯に向き合うことのできるのがスポーツです。ゴールドウインは、スポーツを愛する全ての人へ、トップアスリートから、より多くの人のアクティブな生き方をサポートする企業であることを志しています。

60年間蓄積してきた私たちの技術力と、常に世界レベルの品質で、一人ひとりの心と体の健康を支え、より健やかな社会の想像に貢献していくこと。これが、私たちの使命だと考えています。

面白い、陽気な、スポーツを生み出す、という意味を持つ「Sportful」は、Sportsよりももっとスポーツの語源に近い言葉です。ゴールドウインは、この面白くて楽しいSportfulな生き方や暮らし方を実現するために、“Sportful Apparel (スポーツフル・アパレル)”を提案。センス、クオリティ、ブランドバリューの総合力を発揮して、新しいライフスタイルとマーケットを創造していきます。

#### 社名の由来

**ゴールドウイン = 黄金の勝利。**

古代オリンピック発祥の地ギリシャでは、オリンピックの勝者に月桂樹の葉を冠にあしらって授け、その勝利者を「ゴールド・ウイナー」と呼びました。選手たちに金メダリスト「ゴールド・ウイナー」になってほしい、という願いをこめて、東京オリンピックの前の年の1963年、「ゴールドウイン」に社名変更しました。実際、東京オリンピックで日本選手が獲得した16個の金メダルのうち、12個がゴールドウインのウエアを着用していた選手たちでした。

## ブランドハイライト



### いつもの動きでカロリーシェイプ

日常生活の様々な動きに負荷をかけて効果的にカロリーを消費するアンダーウエア「カロリーシェイパー」を全社横断で展開。

「カロリーシェイパー」は、ウエアの生地に施された独自の負荷ラインにより、ランニングなどのスポーツや通勤・散歩などの日常の動作に負荷をかけ、効果的なカロリー消費を促すスポーツタイツ&アンダーウエアで、MXP、DANSKIN、Champion、ellesseの4ブランドで展開しています。

ランニングや歩行、階段昇降など、普段の足の動きでは、臀筋(でんきん)と呼ばれるお尻の筋肉やももの筋肉が最もよく使われます。

カロリーシェイパーは、この部分に独自の負荷ラインを施すことで、さまざまな動作に負荷をかけ、結果としてからだ全体のカロリー消費を促進させます。  
※効果には個人差があります。

*Calorie Shaper*



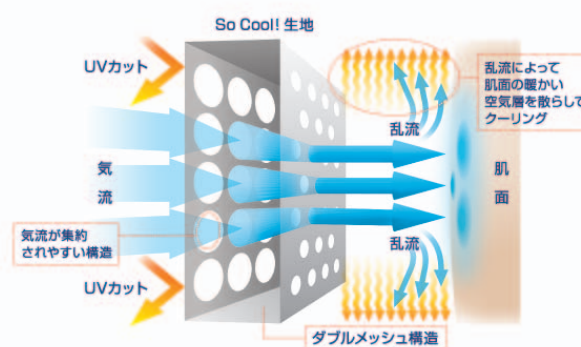
### エアアクセル効果で、瞬速クーリング

高い通気性と優れたUVカットなど相反する機能を両立し快適さを実現する「So Cool! PLUS」を全社横断で展開。

「So Cool! PLUS」は、独自のダブルメッシュ構造によるエアアクセル効果により、運動時に優れたクーリング効果を実現するスポーツウエアです。

通気性とUVカット、軽量感とストレッチ性、吸汗性と速乾性など、それぞれ相反する機能を両立することで、屋外でのランニングやウォーキング、トレッキング、サイクリング、テニスなど、アクティブなスポーツシーンにおいて高い快適さをもたらします。

*So Cool!*  
PLUS





JAXA 宇宙飛行士の下着に使用された技術を応用。汗のニオイや加齢臭をスッキリ消臭する素材「マキシフレッシュ® プラス」を使用したアンダーウェア「MXP(エムエックスピー)®」を発売

ゴールドウインと独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)、(株)J-Spaceとのコラボレーション「宇宙オープンラボ」において宇宙での着用を経て製品化された宇宙下着の技術を応用した、着るだけで加齢臭と汗のニオイを大幅に減少させる素材「マキシフレッシュ® プラス」を採用したアンダーウェア「MXP(エムエックスピー)®」が誕生しました。

国際宇宙ステーションに長期滞在する宇宙飛行士は、地球での生活と同じように頻りに着替えをすることができません。そこで、ニオイ(体臭)をケアするために消臭機能を備えた特殊な下着が開発されました。この宇宙下着に使用された機能素材が「マキシフレッシュ® プラス」です。

着るだけで、汗のニオイや加齢臭をスッキリ消臭。清潔で快適な生活をご提案します。



強いブランドイメージを構築するために、新店舗による積極的な提案を行います。

アメリカンスポーツブランド・チャンピオンは、ブランドの魅力を発信する、新コンセプトのショップ及びコーナーを全国展開し、ブランドイメージの構築を図ります。



ザ・ノース・フェイスはアウトドアに対する専門性とファッションユーザーにも支持されるデザイン性を、直営店舗を通じて発信します。

また地域特性にあわせたショップをザ・ノース・フェイスプラスとして展開し、お客様とのブランドコミュニケーションを高めます。



ゴールドウインが取り扱う4つのブランドによって、スポーティーなライフスタイルを提案するセレクトショップ「Saturday in the Park(サタディ・イン・ザ・パーク)」をサッポロファクトリー2条館にオープンしました。

自由に、楽しく、美しく、健康的な生き方を求める人々に向けて、当社が展開するellesse、DANSKIN、SPEEDO、C3fitの中から、機能的で、シンプルさ・トレンドがバランス良くミックスされた商品を選び、ブランドの垣根を超えたコーディネート提案を行います。



## ブランド一覧

### GOLDWIN

#### ■ ゴールドウイン

世界のトップアスリートからスポーツを愛する人々まで、SKI・BIKE・MOTORCYCLEのアイテムで、一人一人に合った最適の快適を提案する「GOLDWIN」です。



#### ■ シースリーフィット®

“運動機能を着るウエア”というコンセプトのもと、着圧が身体機能・運動機能に働きかけ、身体全体をより良いコンディションへと導き、あらゆる動きを快適にサポートすることを目指している、コンプレッションウエアです。



#### ■ エムエックスピー®

ゴールドウインと独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)、(株)J-Spaceとのコラボレーション「宇宙オープンラボ」において宇宙での着用を経て製品化された宇宙下着の技術を応用した、着るだけで加齢臭と汗のニオイを大幅に減少させる素材「マキシフレッシュ®プラス」を採用したアンダーウエアです。



#### ■ ブルー・ブラッド

高機能はもちろん、ウエアの着心地や、ライダーそれぞれのライフスタイルに合わせた商品を提案するスノーボードウエアブランドです。



#### ■ エスティボ

スノーボードを楽しむための機能とファッション性を融合させ、新しいスタイルを提案します。



#### ■ プロフェシオ

クリーンルームを始め特殊環境ウエアを開発するプロフェシオ。最先端のスペックを追求し防塵・耐久性、防寒性等、着用快適性能と高次元で融合させました。



#### ■ スクール・スポーツ・ウエア

「高品質・高機能・高感性」を追求し、学校体育着として、あらゆる種目、あらゆる激しい動きに柔軟に対応できる、スクール・スポーツ・ウエアです。



#### ■ ダンスキン

1882年にニューヨークで生まれたダンスキンは「IN MOTION」をコンセプトに、インドアからアウトドアまで、スポーツをライフスタイルにしている女性の為に、幅広い商品を提案しています。



#### ■ エレッセ

1959年、イタリアのペルージャで誕生したエレッセ。以来、その洗練されたデザインは、常に世界のスポーツウエアをリードしています。



#### ■ ザ・ノース・フェイス

1968年、米国のカリフォルニア州バークレーで創業。高品質のグースダウンを惜しげもなく使用したクオリティの高いスリーピングバッグ、ダウンパーカの原形ともいえるセラ・パーカ、世界初のドーム型テント「オーバルインテンション」など、一切の妥協を許さず、高機能を追求し、テクノロジーの限界に挑戦し続けてきた世界のアウトドア・ブランドです。



#### ■ カンタベリー・オブ・ニュージーランド

1904年ニュージーランドにてラグビーウエアブランドとして創業。ラグビージャージの原形を作り上げ、ラグビー日本代表を始め、南アフリカ、スコットランド、欧州クラブのレンスターへのユニフォーム提供など、ラグビー界ではトップシェアと絶大なる信頼を得たブランドです。



#### ■ チャンピオン

1919年、アメリカ・ニューヨークで誕生。以来、スウェットやウォームアップスをはじめとする品質の高いアイテムで、あらゆるスポーツマンに全幅の信頼を受け続けるアスレチックブランドです。



#### ■ スピード

1928年にオーストラリアで誕生した「SPEEDO」は、革新的な技術で数多くのトップスイマーをサポートし、世界のリーディングスイムウェアブランドとして圧倒的な地位を保持しています。



#### ■ ヘリーハンセン

1877年、ノルウェーで漁師の為の防水着メーカーとして創業。以来、南極探検隊のサポートなどで得たノウハウで、高機能アウトドアクロージングを提供します。



#### ■ フィルソン

1897年、米国においてゴールドラッシュに臨むためのアウトドアクロージングメーカーとして設立された歴史を持つブランド。その製品は、120年を越えた今でもその親から子へ、そして孫へと受け継がれています。



#### ■ スコット

世界的なスポーツギアブランドとして、スキーポール、ゴーグル、マウンテンバイクなど、様々なジャンルのトップアスリート達をサポート。その実績と信頼は多くの支持を受けています。ゴールドウインでは、日本国内でスキーポール、スキー・バイク用ゴーグル、スキーアクセサリ、自転車(バイク)を展開しています。



#### ■ 241(トゥー・フォー・ワン)

プロスノーボーダーでありアーティストでもあるマイク・バシッチが作ったこだわりのブランドです。



#### ■ イーストバック

1960年、アメリカでミリタリー用のダッフルバッグやナップザックの生産をスタート。1976年には一般消費者用のデイバックのラインを作り始めました。

今日、イーストバックは「使いやすさ」と「デザイン」と「バリュー・フォー・マネー」を合わせもつバックとアクセサリを提案しています。



#### ■ マックバック

1973年、ニュージーランドで生まれたマックバックは、「Simplicity Beyond Complexity(簡潔であることは、複雑であることに勝る)」を基本理念に、丈夫で防水性の高い生地を使い、耐久性を第一に考えた、高い品質を持ったバックの代表となっています。



#### ■ エーライト

サンフランシスコにベースを置く都市型アウトドアのブランドで、「若い人たちが気軽にアウトドアを楽しめるようにすること」をモットーに、大胆かつシンプルなデザインと、多くのユーモア精神をもって革新的なアウトドア用製品を作っています。



#### ■ フィッシャー

1924年創業のオーストリアの代表的なスキーブランド。持ち前の技術革新力を駆使し、アルペンスキー、クロスカントリーから、スキーボードまで、あらゆるジャンルでハイレベルなスキーを提案します。



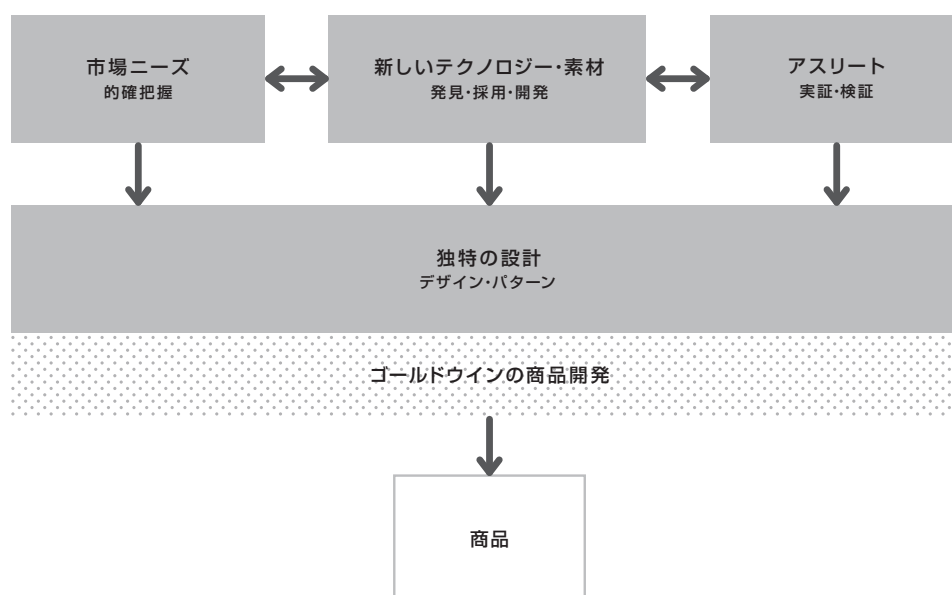
#### ■ エックス・ソックス

イタリア生まれの高機能スポーツソックスであるX-SOCKSは、靴の中の熱や蒸れ、また衝撃を防ぎ、まるで素足であるようにストレスの無い環境を目指したソックスであり、さまざまなスポーツシーンや暮らしの中で、足にとって理想的な環境を追求していきます。

## ゴールドウインのものづくり

### ■ 市場ニーズと新しいテクノロジーへの取組みとして

ゴールドウインは、市場のニーズに的確に応える機能商品を常に開発しています。最先端のテクノロジーや素材を採用または応用し、独自のデザインやパターンと融合させます。それらは、スポーツウエアとして最前線の、アスリートの競技に耐えうるものとして、十分な機能であると実証を得て、デイリーユースにも快適な商品としてご提案しています。



### ■ 環境を考える製品開発コンセプト

#### 「GREEN IS GOOD (グリーンイズグッド)」

環境に配慮した製品の開発、楽しみながら環境への負荷を減らせるようなアイデアなど、スポーツ用品メーカーとして環境のためにできることを、「GREEN IS GOOD」のコンセプトのもとで展開しています。

#### くりかえし使う

##### GREENCYCLE

使用後の製品を回収して新たな製品として再生する、循環型のリサイクル・システムを導入しています。(詳細は次項「循環型リサイクル・システム」でご紹介しています)

#### 選んでつかう

##### GREEN MATERIAL

リサイクル可能な繊維、成長が早い植物を原料とした繊維、無農薬の畑で作られたオーガニックコットン等、環境への負荷を最小限に抑えたこれらの素材を選んで使用します。

主なGREEN MATERIAL：リサイクルポリエステル、オーガニックコットン、ケミカルリサイクルポリエステル、マキシフレッシュ、テンセル、バンブー、ヘンプ、モダール

大切に使う

#### GREEN MIND

できるだけ長く使っていただける製品づくりに努めています。また、アウトドアブランドを中心に、長く使っていただけるようWARRANTY（保証）制度を設け、お客様からの修理のご依頼を受け付けています。



GREEN IS GOODの新しいロゴマーク

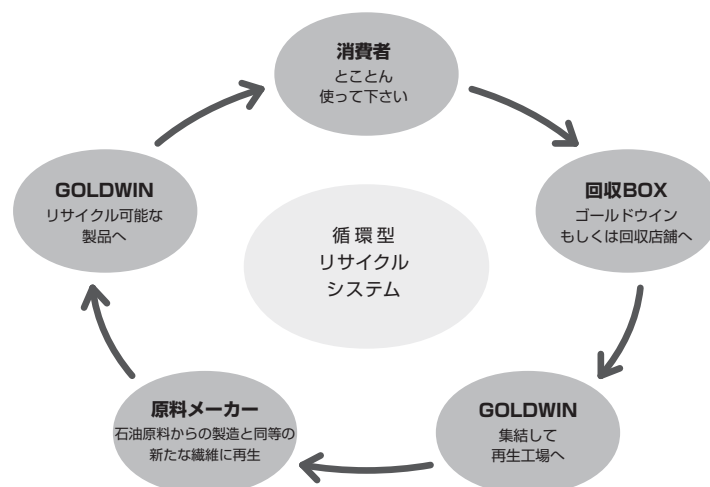
## ■ 循環型リサイクル・システム

ゴールドウインでは「循環型リサイクル・システム」の取り組みを2009年春夏より開始しています。

「循環型リサイクル・システム」は回収対象のポリエステル及びナイロン繊維製品を循環して使用し、埋蔵量に限界があり、近い将来ピークを迎える石油原料に頼ることなく繊維製品そのものを原料として循環させることができます。また、CO2も削減するという地球環境の保全を企業活動及び消費行動という流れの中で実現できると考えます。

循環型リサイクル・システムの主な流れ

- 1) お客様（消費者）が製品に付けられた GREENCYCLE のハングタグと織りネームで回収対象商品を識別します。
- 2) お客様（消費者）の使用済みの対象品番を、弊社の直営店舗および協力店舗のボックス、またはゴールドウインの窓口にて回収いたします。
- 3) 回収した商品は、一箇所に集結され仕分けされた後に、原料メーカーの再生工場に出荷されます。
- 4) 原料メーカーの工場で、石油から製造するものと同等の高純度の原料に戻し、新たな繊維に再生されます。
- 5) そして再生したファブリックが、ゴールドウインの新たな繊維製品となって循環していきます。



※循環型リサイクル・システム、回収店舗等の詳細 <http://www.goldwin.co.jp/recycle/>

## 沿革

## 1950

- 1950 ・ 富山県西部の小矢部市に、ゴールドウインの前身である津澤メリヤス製造所を創業。(1)
- 1951 ・ 法人化し、社名を株式会社津澤メリヤス製造所とする。
- 1956 ・ 今日のスポーツ産業の隆盛を先取りし、一般メリヤスメーカーから、スポーツウエア専門メーカーへと転身。現在の方向性を確定づける。
- 1956 ・ 大阪営業所開設。
- 1958 ・ 東京営業所開設。(2)
- ・ 自社ブランドであるゴールドウイン製品の生産を開始。

## 1960

- 1963 ・ 社名を現在の株式会社ゴールドウインに改める。
- 1964 ・ 第18回東京オリンピック大会において、当社製品が競技ユニフォームとして採用される。体操、バレーボール、レスリングをはじめとする、金メダリストの8割がゴールドウインのユニフォームを着用。(3)
- 1968 ・ 第10回グルノーブル冬季オリンピック大会に続き、第19回メキシコオリンピック大会に当社製品が採用される。

## 1970

- 1970 ・ 札幌営業所開設。
- ・ スキーウエアメーカー、フランスのフザルブ社と技術提携を結ぶ。
- 1971 ・ 福岡営業所開設。
- 1972 ・ 仙台営業所、名古屋営業所開設。
- ・ 第11回札幌冬季オリンピック大会に続き、第20回ミュンヘンオリンピック大会に当社製品が採用される。
- 1974 ・ 第7回アジア大会(テヘラン)に当社製品が採用される。
- 1975 ・ アメリカNo.1のアスレチックウエアメーカー、チャンピオンプロダクツ社と技術提携を結ぶ。(4)
- 1976 ・ イタリア、エレッセ社の高級スキーウエアの生産販売を開始する。(5)
- ・ 国際スポーツ見本市(ISPO)への出展を開始。(6)
- 1978 ・ 世界で圧倒的な信頼を得ているアウトドア用品メーカー、アメリカのザ・ノース・フェイス社製品の輸入販売を開始。
- ・ エレッセ社のテニスウエア輸入販売も開始する。
- 1979 ・ 生産、販売部門を分離し、本社を東京に移転。
- ・ 株式会社トヤマゴールドウインを設立。

## 1980

- 1981 ・ 名古屋証券取引所第二部へ上場。
- 1982 ・ 広島営業所開設。
- ・ フィルソン社全製品の国内での販売を開始。
- 1983 ・ 「ダンスキン」販売開始。
- ・ ノルウェーのヘリーハンセン社と提携および販売を開始。(7)
- ・ 新創業宣言を発表し、新CIを導入。
- ・ 日米対抗ゴルフ「ゴールドウインカップ」開催。
- 1986 ・ 防塵服をはじめとする、特殊環境作業衣(ハイテックウエア)の開発、販売を開始。
- 1987 ・ スウェーデンナショナルスキーツームのオフィシャルサプライヤーとなる。
- ・ ショップ運営会社、株式会社ウエザーステーションを設立。
- 1988 ・ ゴールドウイン開発株式会社設立。
- ・ S-NETを利用した顧客の店頭管理、販売戦略を支援する「GOALサービス」を開始。
- 1989 ・ 兼松(株)と共同で、スポーツ用品会社シークラフトを設立し、オーストリアの「フィッシャー」ブランドスキーの輸入販売を開始。
- ・ 「ダンスキン」の日本における商標権を取得。
- ・ アウトドアのオリジナルブランド、「ラテラ」の販売を開始。
- ・ トヤマゴールドウイン新工場稼働開始。
- ・ 社長西田東作、藍綬褒章を受章。

## 1990

- 1990 ・ 「エレッセ」の日本における商標権を買い取り、経営基盤の充実を図る。
- 1991 ・ 「SCOTT」のスキーポール、ゴーグルの販売を開始。
- ・ ゴルフの森口祐子プロと所属契約。
- ・ 富山県小矢部市に「ゴルフ倶楽部ゴールドウイン」オープン。
- ・ 東京証券取引所第二部へ上場。
- 1992 ・ 韓国ソウル市に合併会社、ゴールドウイン코리아を設立。
- 1993 ・ 「ザ・ノース・フェイス」の日本における商標権を買い取る。
- ・ 渋谷区松涛に新本社ビル竣工。
- ・ イタリア・ミラノにゴールドウインヨーロッパ設立。
- 1995 ・ 東京、名古屋証券取引所第一部へ上場。
- ・ 富山県小矢部市に流通加工センター竣工。
- 1997 ・ (株)ゴールドウインロジテム、(株)ゴールドウイントレーディング、(株)ゴールドウインエンタープライズを設立。
- 1998 ・ ハイテック部門が、品質管理、品質保証の国際規格ISO9001の認証を取得。



- 1999 ・富山地区において、環境マネジメントシステムの国際規格 ISO14001 の認証を取得。  
 ・株式会社ジー・アール・ディを設立。

## 2000

- 2000 ・社長西田東作、勲四等旭日小綬章を受章。  
 ・新会長に西田東作、新社長に西田明男が就任。  
 ・創業50周年を迎える。
- 2001 ・株式会社カンタベリーオプニュージーランドジャパンへ資本参加。  
 ・中期経営計画「Get Winning」を発表。  
 ・株式会社ジーパーソンを設立。
- 2002 ・着心地の良い服を追求する、全社横断型プロジェクト「快適生活宣言」を発表。第一弾は静電気抑制商品。
- 2003 ・(株)トヤマゴールドウィンと(株)ジー・アール・ディを統合し、(株)ゴールドウィンテクニカルセンターを設立。  
 ・新中期経営計画「FORWARD STRATEGY」策定。  
 ・ザ・ノース・フェイス製品を使用した三浦雄一郎氏、世界最高齢でのエベレスト登頂に成功。
- 2004 ・中国上海に高得運(上海)服装貿易有限公司を設立。  
 ・(株)ゴールドウィンテクニカルセンターが参画する「近未来宇宙暮らしユニット」がJAXAの「宇宙パートナー制度の事業提案」に選定される。
- 2005 ・(株)テイススポーツを子会社化。エレッセブランド事業の総合力向上を図る。  
 ・「SCOTT」ブランドの自転車事業を開始。  
 ・超軽量・優れた保温性、世界初のハイブリット素材「光電子プリマロフト」を使用した商品を発売。  
 ・ニュージーランドの高機能アウトドアブランド「macpac」の輸入販売を開始。
- 2006 ・アメリカ発のバックブランド「EASTPAK」の輸入販売を開始。  
 ・花粉付着抑制機能と静電気防止機能を実現した花粉対策ウエア「ボラン・シールド」の販売を開始。  
 ・ゴールドウィン全事業所と染色センターで国際規格 ISO14001 の認証を取得。  
 ・人体が放射している遠赤外線を吸収し、エネルギーを増幅させて身体に送り返す「光電子(こうでんし)」を全社キャンペーンで展開。  
 ・ナノテクノロジーで、消臭効果と抗菌効果を実現した高機能ウエア「マキシフレッシュ」を発売。
- 2007 ・世界のリーディングスイムブランド「SPEEDO」の事業を開始。

- ・ヘリーハンセン製品を着用した海洋冒険家・白石康次郎氏単独世界一周ヨットレース“VELUXファイブオーシャンズ2006-07”で総合2位を獲得。  
 ・中国ナショナルアルペンスキーチームのオフィシャルサプライヤーとなる。  
 ・(株)ウエザーステーションと(株)ジーパーソンを吸収合併。

- 2008 ・スイムブランド「SPEEDO」よりハイテク・スイムスーツ「LZR RACER (レーザー・レーサー)」を世界同時発表。  
 ・JAXA (宇宙航空研究開発機構)が主管する「近未来宇宙暮らしユニット」に株式会社ゴールドウィンテクニカルセンターが参画し、宇宙船内用日常服の開発の一翼を担当。日本実験棟「きぼう」の打ち上げミッションにおいて、土井飛行士が着用。  
 ・総合ショッピングサイト「GOLDWIN WEB STORE」を開設  
 ・(株)シークラフトと(株)テイススポーツより全事業を譲受け事業統合。  
 ・ザ・ノース・フェイス製品を使用した三浦雄一郎氏、エベレスト登頂に成功。
- 2009 ・循環型の衣料品リサイクル・システムを開始。  
 ・着るだけで「加齢臭」をカットする「マキシフレッシュ®プラス」のアンダーウエアの販売を開始。  
 ・「一般医療機器」のコンプレッションウエア「C3fit®」を発表。  
 ・(株)ゴールドウィンテクニカルセンターの沼田喜四司、黄綬褒章を受章。  
 ・会長の西田東作が相談役に就任。

## 2010

- 2010 ・ゴールドウィンと独立行政法人宇宙開発機構(JAXA)、(株)J-Spaceとのコラボレーション「宇宙オープンラボ」において宇宙での着用を経て製品化された宇宙下着の技術を応用した、着るだけで加齢臭と汗のニオイを大幅に減少させる素材「マキシフレッシュ®プラス」を採用したアンダーウエア「MXP (エム・エックス・ピー)®」を発売。
- 2011 ・ウエアの生地には独自の負荷ラインによりスポーツや通勤・散歩などの日常の動作に負荷をかけ効果的なカロリー消費を促すスポーツタイツ&アンダーウエア「カロリーシェイパー」と、独自のダブルメッシュ構造によるエアアクセス効果により運動時に優れたクーリング効果を実現するスポーツウエア「So Cool! PLUS」を、全社横断で展開。



## 会社概要

■ 商号：株式会社ゴールドウィン  
GOLDWIN INC.

■ 設立：昭和26年12月22日

■ 資本金10,329百万円

■ 東証一部上場 コード番号：8111

■ 年商（連結）：42,374百万円

■ 年商（単独）：37,344百万円

■ 従業員：1,178名（グループ1,709名）

■ 事業内容：

次の各種スポーツ用品の製造および販売

○アウトドアスタイル事業関連商品

登山用ウエア、マリノウエア、キャンプ用品および関連商品

○アスレチックスタイル事業関連商品

トレーニングウエア、バスケットボールウエア、テニスウエア、ゴルフウエア、フィットネスウエア、スィムウエアおよび関連商品

○アクティブスタイル事業関連商品

スキーウエア、スノーボードウエア、モーターバイクウエア、スポーツサイクルおよび関連商品

○その他

ハイテックウエア（防塵服）、OEMなど

■ 役員一覧（2011年6月29日現在）

取締役

代表取締役社長 西田 明男

取締役 大江 伸治

取締役 斉藤 茂

取締役 二川 清人

取締役 渡辺 貴生

取締役 神成 一郎

取締役 西田 吉輝

監査役

常勤監査役 向井 俊彦

監査役 奥村 勝亮

監査役 中川 定文

監査役 松本 雅登

相談役

相談役 西田 東作

執行役員

副社長執行役員 大江 伸治（総合企画本部長 兼 事業統括本部長）

常務執行役員 二川 清人（管理本部長）

常務執行役員 渡辺 貴生（事業統括本部本部長 兼 アウトドアスタイル事業本部長 兼 アスレチックスタイル事業本部本部長 兼 ヘリーハンセン事業部長 兼 ダイレクトマーケティング営業部長）

執行役員 斉藤 茂（事業統括本部本部長 兼 アスレチックスタイル事業本部長）

執行役員 神成 一郎（アクティブスタイル事業本部長）

執行役員 西田 吉輝（調達管理部長 兼 株式会社ゴールドウィンテクニカルセンター代表取締役社長 兼 株式会社ゴールドウィンロジテム代表取締役社長）

執行役員 本間 永一郎（経営企画室長 兼 株式会社ナナミカ代表取締役社長）

執行役員 浅見 保夫（アウトドアスタイル事業本部本部長 兼 営業統括部長）

執行役員 野島 秀三（海外営業部長）

（注）監査役 奥村 勝亮氏、監査役 中川 定文氏、監査役 松本 雅登氏は社外監査役であります。

■ 本店

〒932-0112 富山県小矢部市清沢210

TEL 0766-61-4800(代)

FAX 0766-61-4809

■ 東京本社

〒150-8517 東京都渋谷区松涛2-20-6

TEL 03-3481-7201(代)

FAX 03-3481-7256

■ 大阪支店

〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-4-30

ニッセイ新大阪ビル14F

TEL 06-4807-1700(代)

FAX 06-4807-1410

■ 札幌営業所

〒060-0807 北海道札幌市北区北7条西4-12

ニッセイMKビル10F

TEL 011-706-1971(代)

FAX 011-706-1974

■ 名古屋営業所

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3-5-31

ジブラルタ生命名古屋錦ビル5F

TEL 052-955-6301(代)

FAX 052-955-6307

■ 北陸営業所

〒932-0112 富山県小矢部市清沢210

TEL 0766-61-4862

■ 福岡営業所

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2-6-1

九勤筑紫通ビル3F

TEL 092-472-6041(代)

FAX 092-473-0138

■ 主なグループ会社：

株式会社ゴールドウィンテクニカルセンター

株式会社カナタベリーオープンニュージールランドジャパン

株式会社ナナミカ

株式会社アートウィン

株式会社イー・エス・ジー

株式会社ゴールドウィントレーディング

株式会社ゴールドウィンロジテム

株式会社ゴールドウィンエンタープライズ

ゴールドウィン開発株式会社

■ 海外ネットワーク：

ゴールドウィンコリア GOLDWIN KOREA Corporation

ゴールドウィンヨーロッパ GOLDWIN EUROPE SRL

北京奥冠英有限公司 BEIJING GOLDWIN CO.,Ltd.

高得運(上海)服装貿易有限公司 SHANGHAI GOLDWIN CO.,LTD.

■ ホームページ：

<http://www.goldwin.co.jp/>

